

# 性に関する指導事例

## 小学校

学級懇談会・学級活動	学年	5	分類番号	⑤
事例	性に関する興味や好奇心から生ずる安易な行動に対する指導（保護者の役割）			
事例の概要				
この時期の子どもは、性に関する興味や好奇心が増し、親への内緒事ができたり、行動範囲が広がったりすることがある。また、友人関係が親密になったり、交友関係が複雑・多様になったりするのも特徴である。夏休み前の学級懇談会において、思春期を迎える子どもの行動傾向とその対応についての交流を通して、性に関連する問題行動や性被害の危険性を考えた上での親の役割を確認することが必要となる。				
児童の状況				
個人差はあるものの高学年になると、女子は異性を気にする言動が増え、男子は性情報に興味・関心が強くなる傾向にある。特に、夏休みは興味本位から安易な行動をとり、性被害に繋がるといった危険性を秘めている。「帰宅時刻が遅くなる(夜遊び)」、「友達の家泊まる」、「出会い系サイトを利用する」などは、状況によっては予想外の被害や問題が生じることも考えられる。同時にこうした行動は、エスカレートしていくことが多く、親の対応も遅れることが多い。				
指導内容		資料	配慮すべき事項	
<p>①授業参観において、保護者に子どもの思いを感じ取らせる。 ○親の一言が子どもの成長に大きな影響をもたらすことを、子どもの発言から感じ取ることができる授業を行う。 (例) 道徳の授業 「父の言葉」</p> <p>②学級懇談会において、性に関する問題への危険性について考える。 ○過激で歪んだ性情報を簡単に見ることができる生活環境を知る。 ・少女コミックに見る性描写 ・アダルト画像や出会い系サイトへの安易なアクセス ○夏休み中の予想される子どもの言動について、具体例を示しどんな危険性が考えられるのか交流する。 ・「帰りが遅くなる。」→夜遊び(交友関係の広がり) ・「友達の家へ泊まりに行きたがる。」→過激な情報の入手 ○性に関する問題に繋がる危険性がある時の、親の責任と役割を具体的に考える。 ・子どもに迫る性被害等の危険性について、親自身に確かな認識をもってもらおう。 ・危険性が感じられた時に、親の責任と役割として毅然とした態度で「止める」ことの重要性を認識してもらおう。</p> <p>③学級活動において、自分が願う生活を明確にさせる。 ○性に関する興味や好奇心からの安易な行動に潜む危険性について考え、自分が願う生活を具体的に描く。 ・今の自分の生活ぶりや考え方で送る夏休みがどんなものになるかを考え、自分が目標とする生活について具体的に描き、決意を明らかにさせる。 ○親の願いを伝え、自分の生活に対する約束事をつくらせるとともに、家庭との連携を図る。</p>		<p>道徳副読本『父の言葉』 ほか</p> <p>実際に多くの子どもたちが見ている少女コミックスやホームページ等</p>	<p>・夏休みは子どもが自立するチャンス、子どもを成長させる大切な時間である。その中で、親の一言は子どもにとってとても重要であることが伝わるような内容を公開する。</p> <p>・具体物を見せるとともに、子どもにとって簡単に手に入れることができることを伝える。 ・親の時代とは情報の質や量が明らかに異なっていることを具体的に知らせる。</p>	
考 察				
<p>この時期の子どもは、性に関する関心や好奇心が高まる一方で、性に関することについては親に隠そうとする傾向にある。このことは、いつの世代の子どもも同様であるが、今の子どもが目にする性情報の質と量、入手の仕方には過去と比べ大きな違いがある。携帯電話やパソコンといった新しいコミュニケーション・メディアの普及は、出会い系サイトやアダルトサイトの利用を容易にし、性行動の低年齢化と活発化に少なからぬ影響があると思われる。</p> <p>こうした性行動の低年齢化や活発化を促進する要因は様々であるが、その一つに家庭での指導が十分なされていないことも影響していると考えられる。性に関わる問題に繋がる危険性があるとき、親の一言が極めて重要であり、その一言があるかないかで、その後の生活を一変させてしまうといっても過言ではない。子どもは性について語ることは少ない。ゆえに日頃の我が子の姿に目を配り、何気ない言葉に耳を傾け、ややもすると見逃してしまう小さな変化や本音を捉え、時として、いけないことは「いけない」と言い切ることが必要である。こうしたことを、学級懇談会等を通して、大人がまず性について交流できる意識と態度をもつことが重要になる。</p> <p>また、担任がとらえている子どもの意識や言動を保護者に伝え、保護者の思いを子どもに伝えるといった橋渡しを学校が行うことで、親子で性について話せる雰囲気をつくることも大切である。</p>				

性に関する指導事例

小学校

体育	学年	6	分類番号	⑥
主題	病気の予防 病原体がもとになって起こる病気の予防 (エイズ)			
ねらい	エイズという病気は、血液を介して感染することから、日常生活では感染しないことが理解できるとともに、HIV感染者やエイズ患者に対する差別や偏見をもつことが間違っていることに気付くことができる。			
評価規準	知識・理解 思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エイズという病気が、血液を介して感染する病気であることを書き出している。</li> <li>・HIV感染者やエイズ患者に対する偏見や差別は間違っていることについて、その理由を考えている。</li> </ul>		
段階	時間	学習内容・活動	教師の支援及び評価	資料
導入	4	1 エイズという病気について知っていることや調べてみたいことを交流する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな病気なのか</li> <li>・どうしたら感染するのか</li> <li>・治るのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病原体がもとになって起こる病気のひとつとしてエイズを取り上げ、今なお感染が増え続け、社会的な問題となっていることを伝える。</li> </ul>	
展開	10	<b>課題 エイズとは、どのような病気だろうか。</b> 2 エイズという病気について、各自で知りたい観点を決めて調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①エイズという病気について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・からだの抵抗力が弱くなる</li> <li>・熱に弱く、消毒液で死ぬ</li> <li>・血液中でなければ生きていけない</li> </ul> </li> <li>②感染経路について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液から感染する。空気感染はしない</li> <li>・食べ物や、握手などでは感染しない</li> </ul> </li> <li>③現在の治療方法について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・エイズ発症を押さえる薬や治療法が開発</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べ学習の共通の資料を与える。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健の教科書</li> <li>・学校保健会作成のパンフレット</li> <li>・「エイズ予防情報センター」資料 (<a href="http://api-net.jfap.or.jp/">http://api-net.jfap.or.jp/</a>)</li> <li>・自校図書館にある本 など</li> </ul> </li> <li>○3つの視点から、分かったことを箇条書きで整理させる。付箋などを活用して、グループで整理させることも有効である。</li> </ul>	自校の図書館にある関連資料についても紹介する。  『ジョナサンのニッポン日記』
	10	3 エイズという病気について調べたことを交流し、エイズという病気の特徴をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エイズはHIVに感染することによって発病する病気である</li> <li>・血液を介して感染する</li> <li>・防ぐことができる病気である</li> </ul>	【知識・理解】発言、ノート エイズという病気が、血液を介して感染する病気であることを書き出している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガなどで出血した場合、他人の血液には触れないように注意する。</li> </ul>	
	18	4 HIVは日常生活で感染するかどうかについて考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         ジョナサンが学校に通えなかったのはなぜだろう。                     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染する危険性があると思ったから</li> <li>・普通の生活なら感染しないのにおかしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ジョナサンの幼少期に学校へ通えなかった事実から、その理由について話し合いをもつ。</li> </ul> 【思考・判断】発言、ノート HIV感染者やエイズ患者に対する差別や偏見をもつことが間違っている理由を考えている。	
まとめ	3	5 共に生きる社会の重要性を伝える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・HIV感染者やエイズ患者に対する差別や偏見のない社会</li> <li>・いろいろな人の立場にたって考え、共に生きること</li> <li>・HIVに感染しない健康な生活をする</li> </ul>		
〈配慮事項〉 ○感染経路について、性的接触や母子感染による感染については特にふれる必要はない。 ○インターネットを活用した調べ学習では、学習に必要な情報のホームページを事前に厳選し、与える必要がある。				

主題 | 病気の予防 病原体がもとになって起こる病気の予防 ( エイズ )

1 エイズについて調べる 【観点： 】

2 エイズの特徴  
(1) 次の ( ) に言葉を入れて、まとめましょう。

エイズウイルス(HIV)は、( 空気 )や食べ物を通して感染することはない、きず口などからHIVに感染している人の( 血液 )などが入って感染する。  
人がHIVに感染すると、やがてからだの( ていこう力 )が弱くなり、いろいろな病気にかかりやすくなり、( エイズ )になる。

(2) HIVについて、正しいことには○、まちがっていることには×をつけましょう。

- ① ( × ) HIVは、あく手をするとうつる。
- ② ( × ) HIVは、くしゃみやせきでうつる。
- ③ ( × ) HIVは、プールの水を通してうつる。
- ④ ( ○ ) HIVは、日常生活ではほとんど感染しない。

3 ジョナサンが学校に通えなかったことについて、どう考えますか。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

名前

## 性に関する指導事例

## 中学校

保健体育	学年	1	分類番号	⑦
主題	性機能の成熟			
ねらい	月経や射精、受精のしくみが分かることで、性機能の成熟は新しい生命を誕生させることが可能となったことを理解できる。			
評価規準	知識・理解	排卵と月経のしくみ、射精のしくみ、受精のしくみについてまとめている。		
	関心・意欲	仲間との意見交流を基に、自分の体を大切にしていこうとしている。		
段階	時間	学習内容・活動	教師の支援及び評価	資料
導入	10	1 小学校の「思春期の体の変化」で学習したことを振り返る。	○小学校での学習内容を事前にまとめておき発表させる。	
		2 思春期の体の変化のしくみを知る。 ・ホルモンが体の各部分に運ばれ、指令を出す。	○性ホルモンが分泌されるしくみを資料からとらえさせる。	
展開	30	<b>課題 思春期の体の変化はどのようなしくみで起こるのだろうか。</b> 3 排卵と月経のしくみを知る。 どのようなしくみで月経が起こるのだろうか。	○初経が起きる時期や精通が起きる時期には個人差があることをおさえる。	教科書
		4 射精のしくみを知る。 どのようなしくみで射精が起こるのだろうか。	○初経後数年間は月経不順となることや、その理由を整理する。	
		5 受精と妊娠のしくみを知る。 どのようなしくみで受精が起こるのだろうか。	【知識・理解】 学習ノート ○排卵と月経のしくみ、射精のしくみ受精のしくみについてまとめている。  ○不安なときには、保健室等へ相談に行くことよいことをアドバイスする。	
まとめ	10	6 性機能の成熟の意味について考える。 初経や精通が起こるようになったことの意味について考えてみよう。  ・新しい生命を誕生させることが可能となったことで、大人の体に近づいている印である。 ・成熟しつつある体を大切にしないとけない。	【関心・意欲】 発言・学習ノート ○仲間との意見交流を基に、自分の体を大切にしていこうとしている。  ○自分と異性の体や心について理解し、尊重し合う態度が大切であることを押さえる。	
<b>〈配慮事項〉</b>				
○ 思春期の体の変化の時期は、個人差が大きいことをおさえる。 ○ 中学生は月経の周期が不順であることをおさえる。 ○ 不安や悩みを一人で抱え込まず、養護教諭などに相談するとよいことを伝える。				

主題	性機能の成熟
1 思春期になると起こる体の変化を書こう。	
〈男子〉 ・ひげが生えてくる ・わきの下に毛が生えてくる ・性器のまわりに毛が生えてくる	〈女子〉 ・むねがふくらんでくる ・おしりが大きくなる ・わきの下や性器のまわりに毛が生えてくる
2 思春期の体の変化が起こるしくみ	
○ 脳下垂体 → (性腺刺激ホルモン) → 性腺(男子:精巣 女子:卵巣)の働きが活発になる 男性ホルモン、女性ホルモンの分泌 ←————→ 体の変化	
3 排卵と月経のしくみ	
○ 性腺刺激ホルモン → 卵巣…卵胞が成熟 → 卵子が飛び出す(排卵) 子宮内膜の充血 受精が起こらなかった場合、子宮内膜が崩れて体外へ(月経) (ほぼ月に1度ずつくり返し)	
4 射精のしくみ	
○ 性腺刺激ホルモン → 精巣…精子 } 精液 → 尿道を通過して外に射出(射精) 精のう、前立腺…分泌液 } 性的な興奮や刺激により起こる 自慰、夢精	
5 受精と妊娠のしくみ	
○ 精子 → 卵管 ← ○ 卵子 受精の可能性(一つの精子のみ)…受精卵 → 子宮内膜へ(着床) ○ 妊娠: 着床から赤ちゃんが生まれるまで、女性の体内に胎児が宿っている状態	
6 初経や精通が起こることの意味について考えてみよう。	
・新しい生命を誕生させることが可能になった。 ..... ・大人の体に近づいているしるし。 ..... ・成熟しつつある体を大切にする。 ..... ・異性の尊重や性情報への対処など適切な態度や行動の選択が必要。 ..... ..... ..... .....	
名前	

性に関する指導事例

中学校

学級活動	学年	2	分類番号	⑧
主題	望ましい男女交際			
ねらい	男女交際における相手やまわりの人の気持ちを考えることを通して、自分を見失うことなく、自分の理想像の実現に向けて、今どうあるべきかを的確に判断することができる。			
評価規準	思考・判断	安易な意識や衝動的な行動ではなく、お互いの意見を出し合うことで、相手やまわりの人の気持ちや立場を考え、今どうあるべきかを的確に判断している。		
段階	時間	学習内容・活動	教師の支援及び評価	資料
導入	15	1 アンケート結果から、「男女交際」に対する意識を知る。 ・男女交際したいと思っている人が多いんだな。 ・男女交際といっても、考え方はいろいろあるんだな。  2 男女交際によって、自分を見失いかけている我が子への親の心境を綴った手紙を読み、親がなぜそのようにしてしまうのかを考え、感想を交流する。 ・親は本当に心配してくれているんだなあ。日頃は不満をぶつけることばかりだけど、自分勝手な部分があると思った。 ・男女交際することは、相手のことまで真剣に考えないといけない。深く考えないといけない。 ・今の自分にあった男女交際について真剣に考え、温かく見守ってくれる人を裏切ってはいけない。	○アンケート結果のグラフを通して、次の点について明らかにしていく。 ・男女交際をしたいと思うか。 ・男女交際とはどういうことか。 ・今交際するとしたら、相手とどう関わっていくのか。  ○【資料】親からの手紙を範読し、生徒の感想を引き出す。 ・自分が交際しているという立場で手紙を読ませる。	アンケート結果のグラフを用意する。 資料1  ワークシート（親からの手紙）
展開	25	課題 中学生として、どんな男女交際を心がけていくとよいか考えてみよう。  3 中学生としてどのような男女交際を心がけていくとよいかを考え、交流する。 ・交際相手のことで頭がいっぱいになり、自分がやるべきこと（勉強や部活動など）に身が入らなくなってしまうのではなく、自分のやるべきことをしっかりやり、お互いに高まっていくような交際が大切である。 ・自分のことだけではなく、相手や親の気持ちも考えながら、安易な行動に走るようなことはいけない。 ・男女交際というのは、二人っきりになることを求めたり、キスすることなどを期待するものではなく、相手の気持ちを考え、お互いを大切にしていくことだと思った。 ・子どもを育てるといふこと、命を大切にすること、妊娠するということなど、お互いに真剣に考えられる交際が大切である。	・親が心配する理由を考えるとともに、親が子を思う気持ちを足場に意見を交流させていく。 ○望ましい男女交際について意見を引き出す。 ・交際によって自分を見失ってしまう面もあるが、交際相手も同様なことが言えることに気付かせる。 ・全員に発言の機会を与え、お互いの考えを知ることを通して、自分の考え方や行動の仕方を見つめさせる。	
まとめ	10	4 望ましい男女交際について考えをまとめる。 男女交際によって、時には自分を見失ってしまうこともあることが分かった。また、親やまわりの人たちも心配していることも分かった。 自分が男女交際するときには、相手のことも自分のことも真剣に考え、互いの生活の妨げにならないようにしていかないといけないと思う。  5 教師の思いを聞く。	【思考・判断】 発言・ノート ○安易な意識や衝動的な行動ではなく、お互いの意見を出し合うことで、相手やまわりの人の気持ちや立場を考え、今どうあるべきかを的確に判断している。	
<b>〈配慮事項〉</b> ○ 男女交際の是非ではなく、その交際のあり方に焦点をあてて考えていく。 ○ 性に関する内容についても、じっくりみんなで話し合える事を大切にする。				

主題	望ましい男女交際
----	----------

〈 親からの手紙 〉

Aくんへ

お母さんがあなたに手紙を書くのは初めてですね。

いつまでも小さい子どもと思っていたけど、気が付くといつの間にか背丈もお母さんを越してしまい、肩幅も広く、すっかり大人の体格になってきましたね。

小さいときには、叱られたり、悲しいことがあるとすぐに泣いていたのに、今では精神的にもずいぶん成長して、時々堂々と自分の考えを話しているあなたを見るとお母さんはうれしくなってきます。

それはきっとお母さんの前だけではなく、人前で自分がどう行動すればよいかを判断しているからでしょう。

でも、心配なこともあります。最近のあなたを見てみると、「彼女ができた」ということで、人の話を何か上の空で聞いていたり、忘れ物をしてしまったり、勉強や部活動に打ち込めていなかったりするように見えて仕方ありません。それはきっと自分でも気付いていることでしょう。人を好きになることは尊いことです。すばらしいことです。しかし、自分を見失ってしまっは意味がないと思うのです。

お母さんは女だから、正直に言うといろんなことを考えてしまいます。彼女のことにも心配です。

テレビドラマで話題になった「14歳の母」については、お母さんにとって大変ショッキングな内容でした。命の尊さについては、あなたが無事生まれた時の喜び、お父さんと一緒に涙したことを思い出します。妊娠は愛し合った結果であり、生まれた子どもを育てる義務と責任があることを自覚しなければいけません。もちろん、今のあなたにはこんなことは関係ないことと信じています。しかし、いずれ、あなたにもそんなことを真剣に考えなければならない日がくるのも確かです。

このところのあなたの少しうわついている気持ちを自分の心の中で整理して、今、自分が何をすべきかをじっくりと考えてほしいです。それが、相手もあなた自身も大切にすることではないでしょうか。「好き」という気持ちを大切にしながら、「自分」も大切にしてください。そして、すばらしい大人になっていってください。

- 1 手紙を読んで、なぜ親はそのように思ったのかを考えてみよう。

.....

.....

- 2 親の気持ちを知り、感想を書いてみよう。

.....

.....

.....

- 3 中学生として、どのように男女交際を心がけていくとよいかをまとめてみよう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

名前
----

## アンケート用紙

男女交際についてのアンケートに教えてください。

- 1 あなたの性別に をつけてください。

男

女

- 2 中学生のつき合い方 (男女交際)として、望ましいと思うものに をつけてください。

ア 話をする

イ メールする

ウ デートする

エ プレゼントなどを交換する

オ 手をつなぐ

カ 人前で一緒に歩く

キ 自分または相手の家に行く

ク キスをする

ケ 性行為をする

コ その他 ( )





性に関する指導事例

中学校

学級活動	学年	2	分類番号	⑨
主題	丁寧な人間関係づくり			
ねらい	性に関する好奇心やその場限りの人間関係を求める行為が引き起こす事件や事故の実態を知り、自分自身の安易な考え方や行動を見つめ直し、時間をかけてお互いを理解し合える人間関係の大切さに気付くことができる。			
評価規準	思考・判断	安易な性意識や衝動的な性行動に向かうことなく、時間をかけた丁寧な人間関係を築くことの大切さを的確に判断している。		
段階	時間	学習内容・活動	教師の支援及び評価	資料
導入	10	1 アンケート結果から、気付いたことを交流する。 ・中学生で出会い系サイトにアクセスしたことがある人があるんだな。(アクセスしてみたいと思っているんだな) ・出会い系サイトへのアクセスによる事件が多いんだな。 ・出会い系サイトで知り合った人によって、性病や妊娠等の問題や援助交際や傷害事件といった予測できない危険性を含んでいる。	○アンケート結果のグラフを通して、次の点について明らかにしていく。 ・出会い系サイトとは何か。 ・どのような事件が起こっているか。 ・何が原因で起こっているか。	・アンケート結果のグラフを用意する。 (資料1) ・出会い系サイトによる犯罪事例
		<p style="background-color: yellow;">課題 どうして出会い系サイトから、人との出会いを求めていくのか考えてみよう。</p> <p>2 出会い系サイトへのアクセスによる危険が多いのに、なぜ見知らぬ人との出会いを求めてしまうのかを考えよう。 ・面白そうだから。どうせ、人と会うつもりはないから。 ・はっきりした目標や目的もなく、その日その瞬間さえ、楽しければいいと思っているから。 ・進路に対する不安や、友達との人間関係から、ストレスを解消するためにやっているから。 ・心から悩み事を相談できるような気がするから。 ・家族でつまみ食いしてなくて、話し相手が誰でもいいのでほしいから。 ・楽にお金がもらえそうだから。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3 本当に、あなた達のこんな気持ちを満たしてくれるんだろうか。あなたに必要な人とはどんな人なんですか。</p> </div> <p>・きっと一瞬は「いい人だ」と思うかもしれないが、相手が求めているものは、私が求めているものとは違って、大変な事件につながるかもしれない。 ・本当に私の事を分かってもらえる人に会いたい。 ・甘い言葉にだまされて、自分の身も心も傷ついてしまうかもしれない。</p>	○どんな気持ちや考えから見知らぬ人との出会いを求めていくのか、いろいろな考え方を出し、そのことのできる人間関係がどんなものかを想像させる。	
展開	15	3 本当に、あなた達のこんな気持ちを満たしてくれるんだろうか。あなたに必要な人とはどんな人なんですか。	○その場限りの人との出会いを求めるのではなく、時間をかけてお互いを理解し合う人間関係を築き上げていくことこそ、生涯にわたって大切にできる友を築き上げていくことになることを理解させる。	
		<p>4 これから大切にしたいことを考え、まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あなたの今の考え方(生き方)なら、出会い系サイトなどで見知らぬ人と出会い、望まない性行為や性被害といった事件や事故に巻き込まれてしまう危険が無いと言えますか。あなたがこれから大切にしていきたいことはどんなことですか。</p> </div> <p>「寂しいときにだれかと会って話ができる」と簡単に考えていることが、危険な事件につながるがよくわかった。そして、日頃から、「楽しければいい」「おもしろければいい」と甘く考えることがこのような事件につながるように感じた。心から相談できる友をもち、悩み事を相談できるような人に出会うには、丁寧にじっくり時間をかけた人間関係を築いていくことが大切だと分かった。出会い系サイトには絶対に入らない。</p>	<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【思考・判断】 発言・ノート</p> <p>○安易な性意識や衝動的な性行動に向かうことなく丁寧にじっくり時間をかけた人間関係を築くことの大切さを的確に判断している。</p> </div> <p>○自分自身の考え方を深く見つめさせ、どんな生き方をしたいかを書かせる。</p>	
まとめ	10	5 教師の思いを聞く。		
<p>〈配慮事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健体育の授業(1年)において、「性情報への対処」を学習していることを確認する。</li> <li>○ まとめの作文から、一人一人の考え方を把握し、個別指導に生かす。</li> </ul>				



## アンケート用紙

男女交際についてのアンケートに答えてください。

いずれかに○をつけてください。

- 1 あなたの性別は何ですか。

男 女

- 2 あなたは今、携帯電話を持っていますか。

はい いいえ

あてはまると考えるものの記号に○をつけてください。

- 3 携帯電話やパソコンを利用して出会い系サイトにアクセスした(しようとした)ことがありますか。

①したことがある →質問4へ

②したことがない →質問5へ

③なんのこともわからない

- 4 それはどのようなサイトでしたか。詳しく書いてください。

--

- 5 携帯電話・パソコンを利用して出会い系サイトにアクセスしたいと思いますか。

①はい →理由を書いてください。

--

②いいえ →理由を書いてください。

--

- 6 出会い系サイトにアクセスすることは危険だと思いますか。

はい いいえ

なぜですか

--

## 性に関する指導事例

## 中学校

保健体育	学年	3	分類番号	⑩
主題	性感染症（エイズ）の予防			
ねらい	性行為によって、性感染症やエイズに知らないうちに感染する可能性があることを「性的ネットワーク」の概念から理解し、その予防方法を知るとともに、将来にわたって責任ある性行動をとることの大切さについて理解できる。			
評価規準	知識・理解	HIVの感染ルートを基に、性感染症の予防の一つである「コンドーム」の正しい使用が感染症の予防に有効であることをまとめている。		
	思考・判断	自分の問題として感染症予防の必要性についてとらえた上で、将来に向けて、責任ある性行動の大切さについて考えている。		
段階	時間	学習内容・活動	教師の支援及び評価	資料
導入	10	1 HIVの感染ルートを確認する。 2 青少年の性感染症の現状を知る。 ・青少年の性感染症の感染率が高い。 ・HIVの感染者数も増えている。	○性的接触により性感染症・エイズが広がることをおさえる。 ○青少年の性感染症の感染率が高いことを資料からとらえさせる。	厚生労働省ホームページ「エイズ発生動向年報」
展開	20	3 性感染症の予防方法を知る。 たった一度の性的接触でも感染の危険性がある以上、どのように予防したらよいのだろうか。 ・感染の危険のある性的接触をしない。 ・コンドームは、正しく使用すれば感染の危険性を少なくするのに有効である。 ・保健所や保健センターで検査する。 課題 性感染症やエイズは、私たちには関係無いと言えるのだろうか。 4 性的ネットワークの概念を知る。 性感染症やエイズは、「私には関係ない」といえるのだろうか。 ・性生活が始まれば、感染の危険性はある。 「カレシの元カノの元カレを、知っていますか。」ってどういうことだろうか。 ・知らないうちに性的ネットワークの中の一人になる可能性がある。	【知識・理解】 学習ノート ○HIVの感染ルートを基に、「コンドーム」の正しい使用が感染予防に有効であることをまとめている。 ・ポスターを提示する。 ・性的ネットワークの概念図を提示する。 ○自分にも、この先危険性はあることをつかませる。	教科書  公共広告機構ホームページ  教科書
まとめ	20	5 この先、どんなことを大切にして生きていくことが必要かを考える。 この先、将来にわたってどのような行動が大切なんだろうか。 ①グループで意見交流する。 ②自分の考えを学習ノートにまとめる。 ③代表生徒が発表する。	【思考・判断】 学習ノート・教師の観察 ○自分の問題として感染症予防の必要性をとらえた上で、将来に向けて、責任ある性行動の大切さについて考えている。 ○責任ある行動とは、その行動がどんなことに繋がるかを深く考えることであることを伝える。	
<b>〈配慮事項〉</b>				
○ 実際のコンドームの提示や、装着の仕方を教えることは必要無い。				

主題 性感染症（エイズ）の予防

- 1 エイズの感染ルート
  - ・HIVは、感染者の精液、膣分泌液、血液に多く含まれている。
  - ・感染経路は、性的接触による感染、血液による感染、母子感染の三つ。

2 性感染症の現状

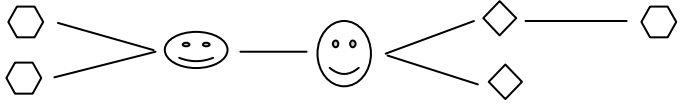
○ 厚生労働省ホームページ → トピックス → 健康局 → 「性感染症報告数」などのデータをもとに資料を作成する。

3 性感染症の予防方法

性感染症を予防するためには、感染の危険のある（ 性的接触 ）をしないこと。  
 また、（ コンドーム ）は、正しく使用すれば、感染の危険性を少なくするのに有効である。  
 HIVに感染しているかどうかは、（ 保健所・保健センター ）で、検査・相談を受けることができる。

4 性的ネットワーク

○ パートナーの前のパートナーのその前のパートナー（カレシの元カノの元カレの・・・）を知っていますか？  
 「決った相手だから安心」と言い切ることはできない。



5 この先、どんな生き方をしていきたいか。「将来の夢」など

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

名前

★ 先生からのコメント

性に関する指導事例

中学校

個別指導	学年	3	分類番号	(1)	
事例	二人っきりになりたがる中3女子生徒（B子）への個別指導			対応	養護教諭
事例の概要					
<p>この4月から、同じ部活の先輩だったA男〔現在高1〕と付き合い始めた。普段はお互いにあまり時間がないため、携帯電話のメールによる付き合いが中心となっている。夏休みに入り、花火大会と一緒にいく約束をし、一緒の時間を過ごした。翌日、A男とのメールのやりとりをみた親が二人の関係を心配し、学校に連絡が入る。本人は親の干渉（勝手にメールを見たこと・日頃から交際に口うるさいこと等）に腹を立て、親とは一切口をきこうともせず反抗的な態度をとり続けている。その後友人宅への無断外泊もあった。夏休み後半、学校で指導を試みるが、生徒指導主事や担任が話そうとしても受け入れず、大人への不信感を抱えふてくされていた。</p>					
学校における指導				配慮すべき事項	
B子		養護教諭			
○保健室における個別指導					
思春期の心理を認める。					
<p>「キレイだったよ。楽しかったし。A男とずっと一緒にいたいなあ。」</p> <p>「先生にも分かる？親は全然分かってくれない。口うるさいだけ。」</p> <p>「そんなんじゃ高校行けないとか、勉強しろとか、分かってるのに言うから嫌になる。A男のことも悪く言うし。私はA男のそばにいたい。それでいいもん。」</p>		<p>「B子、A男と花火を見に行っただって。花火どうだった？」</p> <p>「B子はA男のことが本当に好きなんだね。そんな気持ち先生も中学生の頃あったなあ。懐かしいね。」</p> <p>「親だってB子と同じ時期をちゃんと経験してきているんだよ。でも心配なんだよね。親って素直に心配って言えないのかもね。」</p> <p>「B子だけじゃなく、思春期の子はみんな親しみをもった人のそばにいたいと思うものなんだよ。そんな気持ちを思い出させてくれてありがとうね。」</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の素直な気持ちを受け入れ、気持ちを落ち着かせる。</li> </ul>	
相手を大切に思う気持ちをどう行動に表すか共に考える。					
<p>「そんなん分からん。ただ好きだからお互い少しでも一緒にいたいなって思う。」</p> <p>「セックス（性的接触）のこと？」</p> <p>「みんな心配してくれているんだ。分かってるけど・・・」</p>		<p>「B子がA男のことが好きで大切に思っているのはすごくよく分かったよ。大切に思う気持ちをどうやって行動にしたらいいと思う？」</p> <p>「そうか・・・先生は一緒にいるって意味は男と女では少し違うと思うんだけど、B子はどう思ってる？」</p> <p>「そうだよ。セックスしたら女の人は妊娠する可能性があるよね。中絶とか性感染症とか身体だけじゃなくて、心にもたくさんリスクを負うことになると思うよ。」</p> <p>「お互いを大切に思う気持ちがよく分かったから、二人の関係が長く続くように応援したいと思うよ。それはB子の両親も同じだと思うよ」</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠や中絶、性感染症について正しく理解させる。</li> <li>・周りの大人が心身の両面から心配していることに気付かせる</li> </ul>	

<p>自分を大切に生きる生き方を共に考える。</p> <p>「まだ・・・はっきり決めてないけど保育士さんになれたらいいな。子どもが好きだし。」</p> <p>「うん。先生ありがとう。」</p>	<p>「相手を大切にすること、自分を大切に生きる生き方を見つける事だと先生は思うよ。B子が自分を大切に生きる生き方を一緒に考えていきたい。B子は将来どんな大人になりたいの？」</p> <p>「そうか。B子は子どもが好きだとは知らなかったな。強がってるけど、あなたには優しいところがいっぱいあるよね。」</p> <p>「子どもの気持ちの分かる素敵な保育士さんになってよ。期待してるからね。」</p>	<p>・将来の夢を確認しながら、夢の実現に向けてどう生きていくか考えさせる。</p>
<p>○生徒指導主事・担任による個別指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出かける時の約束について再度確認する。</li> <li>・出かける時は親に行き先を告げる。</li> <li>・夜間の外出は控え、外泊は絶対にしない。</li> <li>・携帯電話の使い方とコミュニケーション方法について共に考える。</li> <li>・残りの夏休みは実現可能な具体的な目標を設定し、見届け励ます。</li> </ul>		<p>・顔を見ながらの直接のコミュニケーションを大切に生活の心がけさせる。</p>
<p>○全体指導（二学期の始業式後）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話の使い方と危険性について学級指導する。</li> </ul>		<p>・学校たよりや保健たよりを活用する。</p>
<p>考 察</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・性的接触や避妊、人工妊娠中絶など、様々な問題を抱える生徒の実態に応じた個別指導の必要性が年々高まっている。養護教諭は日常の健康相談活動を通して、生徒の抱える不安や心身の小さな変化に気付く目をもたなければならぬ。そのためにも、生徒が相談しやすい保健室経営に心がけなければならない。</li> <li>・男女交際で大切なことは、相手を思いやり、自他ともに大切に生きる生き方を尊重し、お互いに健全に成長することである。そのためには、時間をかけてお互いを理解し合える人間関係を築き上げていくことが大切であり、性行為を早急に求めることで愛を確かめ合うということの問題を具体的に考えさせることが重要である。また、特に援助を必要とする生徒に対しては、身近な大人が、何を心配しているかを明確に伝えることも必要であると考えられる。</li> <li>・多くの生徒が携帯電話を持ち、日常生活におけるコミュニケーションツールとして活用している。生徒の中には携帯電話に依存するが余り、集団での行動がうまくとれなかったり、携帯電話による会話のため意志の疎通が取れず、トラブルの元になったりすることも少なくない。携帯電話はあくまで道具であり、それを使う側のモラルや情報の信頼性等について、繰り返し指導する必要がある。</li> <li>・本事例のように相手が高校生（同じ学校の生徒ではない）の場合、高校の生徒指導主事とも連携を図り、生徒の行動を見守っていく必要がある。二人が、周りの人たちに守られているという安心感をもち、互いの将来の自己実現に向けた望ましい関係が築けるように支援する。</li> </ul>		

性に関する指導事例

高等学校

保健体育	学年	2	分類番号		
単元名	現代社会と健康		小単元名	エイズとその予防	
ねらい	世界と日本（岐阜県）におけるエイズの状況から問題点を見付け、性感染症（エイズ）の予防のために、社会がすべきこと、自分ができることについて考えることができる。				
評価規準	知識理解	エイズ患者増加の現状をとらえ、感染経路や性的ネットワークの概念から原因をまとめている。			
	思考判断	エイズの危険性について、予想される事態にどのように対策を講ずるか、社会と個人の両面から整理している。			
段階	時間	学習内容・活動		教師の支援及び評価	
導入	5	1 基本的事項をまとめる。 エイズの日本語名を漢字で書いてみよう。 ・「後天性免疫不全症候群」 ・HIVというウイルスが感染源である。 ・感染経路（性行為・血液・母子感染）		エイズは身体の免疫機能を破壊すること、潜伏期間が長いこと、3つの感染経路があることをおさえる。	
		2 問題点と原因を考える。 資料1から、どんなことが言えるか。 ・世界の中で日本、岐阜県内でも増加傾向である。 <b>課題 日本（岐阜県）のエイズの状況から、問題点とその対策を考える。</b>		世界と日本の現状を比較し、身近に起こっている問題として捉えさせる。	
展開	40	3 性的ネットワークの概念から原因を考える。 なぜ、日本（岐阜県）では、HIV感染者が増加しているのだろうか。 ・予防が十分でない。 ・自分には危険性があるとは思っていない。 特定の相手との性行為は安全だろうか。 ・危険なのは、不特定多数の人と性交渉している人だと思う。 「カレシの元カノの元カレを、知っていますか」これはどういうことだろうか。 ・知らないうちに性的ネットワークの中の一 人になっている可能性がある。		【知識・理解】学習ノート エイズ患者増加の現状をとらえ、感染経路や性的ネットワークの概念から原因をまとめている。  自分を含め、身の回りの友人や恋人は安全という固定観念を取り払って考えさせる  一人だけを特定した性行為が安全であるとは言えないことを理解する。 ・性的ネットワークの概念図を提示する。	資料1
		4 個人・社会の対策について考える。 個人対策として何に気をつけたらいいの だろう。社会が取り組むべきことはなん だろうか。 ・対策を具体的に書き出す。 ・性行為があるということは、性的ネット ワークの一人になる危険性があることを認識 し、検査をしたり、コンドームの利用を徹底 する。 ・HIV検査やエイズに関する相談を気軽 にできる体制をとる。拠点病院での専門的な 治療が受けられることを広報する。		【思考・判断】学習ノート エイズの危険性に関わり、予想 される事態にどのように対策を講 ずるか、社会と個人の両面から整 理している。  今後危険が最も多い感染経路は、性 行為であることを説明する。  保健所で受けられる検査の仕方につ いて説明する。	資料2
まとめ	5	5 具体的な対策について整理する。 ・自分はどんなことを大切にしていかなければいけないかを整理する。			
<b>配慮事項</b> 生徒の意識は、不特定多数の相手との性行為が問題であって、特定の一人を相手にしていれば問題が無いと思いつていることが多い。性的ネットワークの概念とウイルスの潜伏期間から、危険性がないとは言えないことをとらえさせる。					

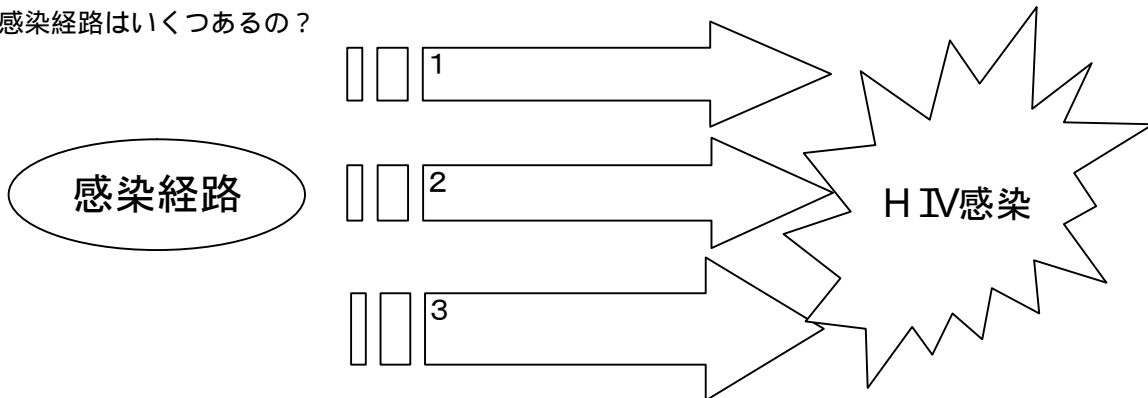


単元名	現代社会と健康	小単元名	エイズとその予防
-----	---------	------	----------

1 エイズの日本名は？

2 感染源は何？

3 感染経路はいくつあるの？



3 資料1のグラフから読み取れること。

- ・
- ・
- ・
- ・

4 個人の対策として何が挙げられるだろう。

5 「エイズとその予防」を学んで、今後自分はどんなことを大切にしていくな。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

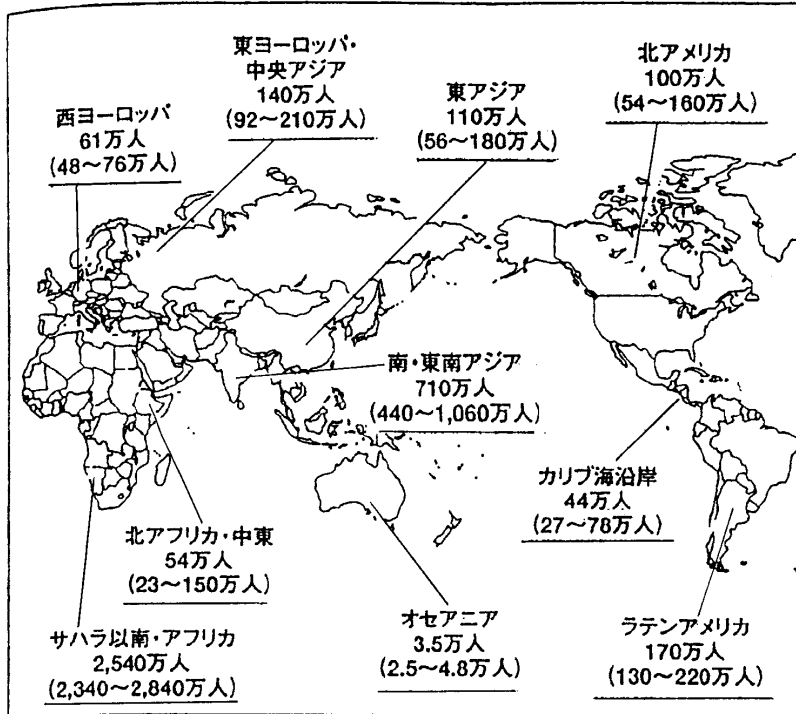
-----

-----

先生からのコメント

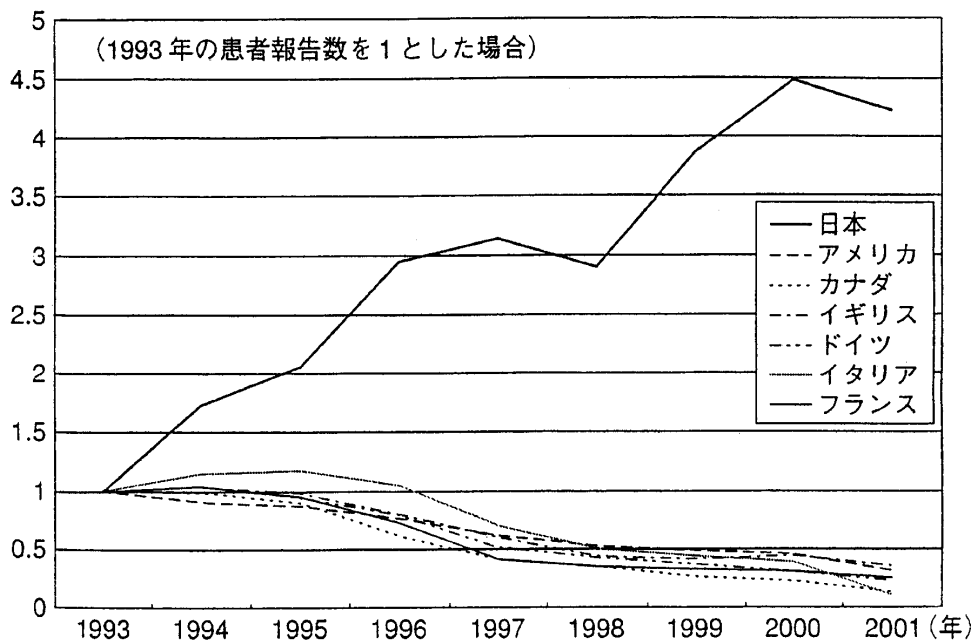
名前
----

# 世界のHIV/AIDSの状況

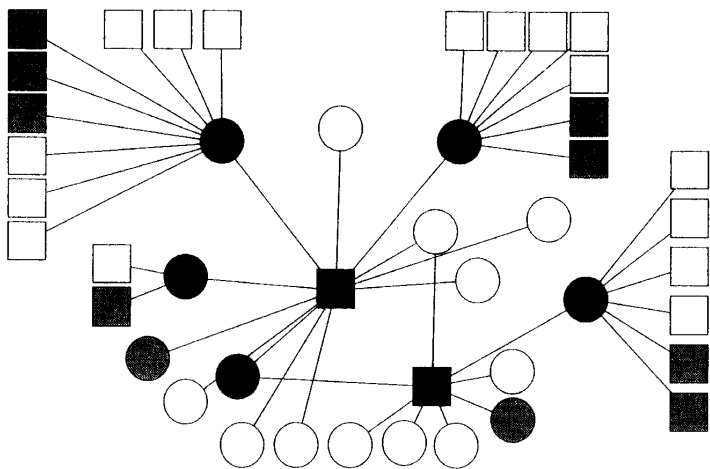


- ・世界のHIV/AIDS患者・感染者数は3,940 (3,590~4,430) 万人と推定される。
- ・2004年の新規HIV感染者数は510 (430~640) 万人で、感染のペースは衰えていない。
- ・1年間のAIDSによる死者は310 (280~350) 万人に達し、うち15歳未満の子どもは51 (46~60) 万人である。(UNAIDS, 2004年12月時点)

## 先進7か国 (G7) のエイズ患者報告数の増減比率



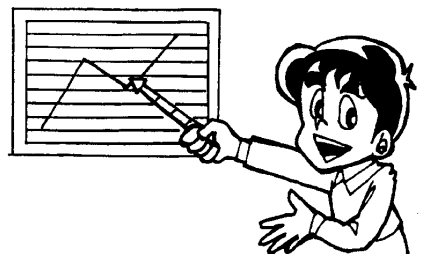
(厚生労働科学研究費エイズ対策研究事業平成14年度研究報告書より)



米国ミシシッピ州某町における性的ネットワークとHIV感染  
(四角=男, 丸=女, 黒=HIV陽性, 白=HIV陰性, グレー=未検査)

出典：MMWR Sep 29, 2000/49 (38): 861-864

出典 「10代の性行動と日本社会」 木原雅子著(ミネルヴァ書房)



性に関する指導事例

高等学校

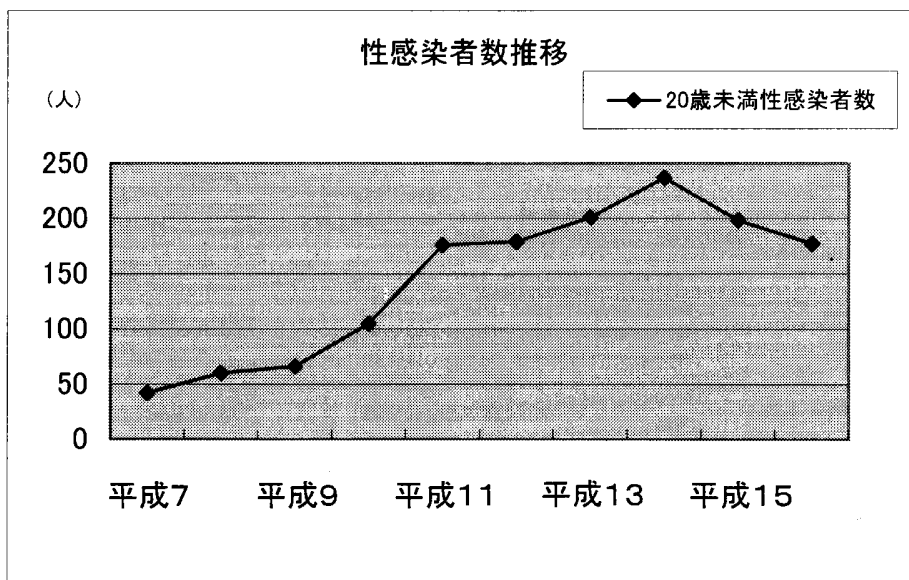
LHR	学年	2	分類番号	
主題	愛と性について			
ねらい	「愛していれば(16歳になれば)、性行為も許される」という意識からの行為が、思いもよらぬ状況を招く危険性がある事を知り、自制心をもってじっくり人間関係を築いていくことが、お互いを理解し尊重し合い、お互いを大切にしたい生き方であることを理解する。			
評価規準	思考・判断	お互いをかけがえのない一人の人間として尊重し、じっくり理解し合うことの大切さについてまとめている。		
段階	時間	学習内容・活動	教師の支援及び評価	資料
導入	5	1 高校生の性行為に対する意識を確認する。 ・「愛があれば性行為してもよい。」という意見が多い。	事前にアンケート調査を行う。 性行為への意識について整理し、自分の意識との違いを捉えさせる。	
展開	15	<p><b>課題 16歳の性行為について考えてみよう。</b></p> <p>2 資料を読み、翔子さんの体験から愛や性について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「愛していれば性行為をしてもよい」と思いますか。</p> </div> <p>グループ(7~8人程度)で意見交流する。</p> <p>代表的な意見を出し合い、学級全員で意見交流する。</p>	<p>自由に意見を交流できる雰囲気を大切にする。</p> <p>「愛していればHIVも受け入れられる」という意見については、エイズという病気について補足する。</p> <p>青少年の性感染症等の実態を伝える。</p> <p>HIVに限定せず、青少年の性感染症全体の罹患率を提示する。</p> <p>愛を前提にした1対1の性行為であっても、性的ネットワークの中の一人になることもあることを伝える。</p> <p>妊娠、人工妊娠中絶の状況を加えることも良い。</p> <p>資料の翔子さんを例に説明を加える。</p>	資料1
	20	<p>3 自分の性行為に対する考え方が、どんな将来に繋がるか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あなたの性行為に対する考え方は、どんな将来に繋がると思いますか。あなたの将来の夢の実現を踏まえて考えてみてください。</p> </div> <p>自分の考えをワークシートにまとめる。</p> <p>学級全員で交流し合う。</p>	<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><b>【思考・判断】 発言・ノート</b> お互いをかけがえのない一人の人間として尊重し、じっくり理解し合うことの大切さについてまとめている。</p> </div> <p>愛するということは、お互いを大切にすること、そのためには時間をかけた付き合いによりお互いを理解し合うことが重要であることを、生徒の発言の中から価値付けていく。</p>	資料2
まとめ	5	4 教師の願いを、自分の生き方に関わらせながら話す。		
<p><b>配慮事項</b></p> <p>愛があれば性行為をしてもよい、よくないを話し合うのではなく、どんな危険性があるかに気付き、今の自分の考え方が、どんな将来に繋がるかをじっくり考えさせる。</p> <p>生徒相互の意見交流を大切にする。</p>				



あなたのまわりにHIV感染者はいますか？  
 こう聞かれると、たぶん、いないと答える人のほうが多いだろう。それよりも、そんな病気は、自分には関係ないと思っている人がほとんどかもしれない。  
 じつはそこに、この病気の落とし穴があると、私はつくづく思う。HIV感染者は、額にHIVと印をつけているわけではなく、自分からその病気だと言わないかぎり、他の人にはわからないからだ。（中略）  
 私もHIV感染者の一人だが、この病気だということは、自分から話した人たちしか知らない。治療がうまくいっているおかげで、普通の生活もとくに変わったところはなく、どこから見てもごく普通の、一人の独身の女性だ。  
 もちろん、仕事もしている。私の仕事は保健婦、地方公務員の技術職だ。驚かれたかもしれないけれど、HIVというウイルスは人を選ばない。保健婦だって感染するし、ましてHIV感染者は仕事をしてはいけないという法律もない。  
 けれども、こうして正々堂々と言えるようになるまでには、当たり前のことだが、いろいろあった。医療の専門職として、HIVに感染してしまった自分の立場に居心地の悪さを感じ、  
 「このまま保健婦をしてもよいのだろうか？」  
 と、悩んだ時期もある。職場での人間関係、家族、とくに両親との葛藤なども。それらは後で詳しく話すことにして、今はこの病気でも、こうして仕事を続けていられることに感謝している。  
 私が感染したのは、異性間の性交渉によるルート、つまり普通のセックスによってだった。  
 セックスによる感染というと、不特定多数の相手とセックスした遊び人のように思われるかもしれないけれど、私のパートナーは一人だった。（他国の現住民）ただ、彼が感染しているのを知らなかったのだ。エイズウイルスに感染しない絶対安全なセックスは、お互い感染していないのを確認したうえで、コンドームなどできっちり予防することだと一般にいられている。  
 でも、誰かを好きになって、いざそういう関係になったとき、  
 「あなたはHIVに感染していないですか？」と、何のためらいもなく相手に聞ける人はいらるだろうか？

『神様がくれたHIV』 北山 翔子  
 株式会社 紀伊國屋書店

岐阜県の性感染者の実態調査



性に関する指導事例

高 校

講演会	学年	全学年	分類番号	(14)
主題	性感染症の予防			
ねらい	性感染症に関する正しい知識を身に付け、その予防に対する自己管理の重要性について理解できる。			
段階	指 導 内 容			配慮事項
事前	<p>1 「性教育担当者会議」において提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「性教育担当者会議」メンバー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長、教頭、生徒指導部長、学年主任、保健厚生部</li> </ul> </li> <li>○協議内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事日程の決定</li> <li>・予算決定</li> <li>・講師の選出</li> <li>・役割分担</li> <li>・行事進行方法</li> </ul> </li> </ul> <p>2 事前調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○意識調査アンケートによる実態把握</li> <li>①職員、保護者向けアンケート調査                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・性感染症を中心に、性全般に関して生徒に教える必要があると思われることについて聞く。（平素の生徒の言動から）</li> <li>・講演会で講師の先生から聞きたいと思われる内容について聞く。</li> </ul> </li> <li>②生徒向けアンケート調査                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・性感染症に関する知識について</li> <li>・男女交際に関する考え方について</li> <li>・講師の先生に聞きたいことについて</li> </ul> </li> </ul> <p>3 講師との事前打合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○打合せ内容</li> <li>①事前アンケートの結果をもとに実態をとらえる。</li> <li>②講師の先生が是非伝えたいと思われる内容について伺う。</li> <li>③生徒の興味・関心や性行動の違いから、講話内容の焦点を決める。</li> <li>④行過ぎた指導内容にならないよう、また使用用語について確認する。</li> <li>⑤講師、学校双方の意見をまとめ、講話の進行について決定する。</li> </ul> <p>4 各種広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭・地域との連携</li> <li>①PTAの方にアンケート協力のお礼と「性感染症における講演会」の案内をする。</li> <li>②学校評議員の方に「性感染症における講演会」の主旨を含め案内し参観を求める。</li> </ul>			<p>・保護者、生徒、職員の意識を探り、指導内容を検討する。</p> <p>・学習指導要領から逸脱しないこと。</p>
当日	<p>5 講演会当日</p> <p>＜ 導入 ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①事前アンケートの結果を提示する。</li> <li>②性感染症に関して、実際に学校にあった事例について話をする。</li> </ul> <p>＜ 講話 ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①性感染症の症状と実態（特に岐阜県の高校生の実態）</li> <li>②性感染症を予防し、自分を大切にす為にはどう行動すべきか。</li> </ul> <p>＜ まとめ ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒に対して、講話を聞いて、知り得たこと、実行していきたいことをまとめさせる。</li> <li>②PTAや学校評議員の方々に感想を伺う。</li> </ul>			
事後	<p>6 「性教育担当者会議」による事後評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○協議内容</li> <li>①ワークシートを利用して事前事後の調査結果を比較・評価する。</li> <li>②PTAや学校評議員の方々の感想について検討する。</li> <li>③成果と次年度への課題を明確にする。</li> </ul>			
<p>〈配慮事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 性教育に関する委員会を校務分掌中に位置付ける必要がある。</li> <li>○ 学校の意図する内容に合った講師の選択と決定講師との十分な打ち合わせをする。</li> <li>○ PTAや学校評議員の方などに、積極的に講演会のPR活動等を行い、理解を得る。</li> </ul>				

## 主題 性感染症に関する講話を聞いて考えた事

1 今日の講演会を聞いてもう一度自分を振り返りましょう

1・・・はい

2・・・どちらともいえない

3・・・いいえ

- |                                   |   |   |   |
|-----------------------------------|---|---|---|
| (1) 性感染症にはどんなものがあるか知っていますか        | 1 | 2 | 3 |
| (2) 性感染症にかかるとすぐに症状が出るのでわかると思いますか  | 1 | 2 | 3 |
| (3) クラミジアは性行為で感染すると思いますか          | 1 | 2 | 3 |
| (4) 性感染症から不妊症になることがあると思いますか       | 1 | 2 | 3 |
| (5) 援助交際や出会い系サイト利用は本人の勝手であると思いますか | 1 | 2 | 3 |
| (6) 高校生でも好きなら性行為をしてもよいと思いますか      | 1 | 2 | 3 |
| (7) 自分の周りに相談できる信頼すべき人がいますか        | 1 | 2 | 3 |
| (8) 自分の行動に責任をもつことができますか           | 1 | 2 | 3 |
| (9) 自分のことが好きですか                   | 1 | 2 | 3 |

2 一番心に残ったことはどういう内容でしたか

- ・性感染症は他人事ではなく、身近な問題であること。
- ・クラミジアを放置しておく和不妊になったり、子宮外妊娠になったりして危険だ。

3 性感染症を予防するのは何故ですか

- ・お互いを大切にす為

4 自分自身を大切にできるとは、実際どういう行動がとれることですか。あなたはできますか。

- ・危険な恋愛はしない。
- ・自分のこと相手のことを目先の気持ちに左右されないで考えることができ、よく話し合うことができる。

5 どのような恋愛をしていきたいですか。

名前



性に関する指導事例

高校

個別指導	学年	3	分類番号	(15)
事例	望まぬ妊娠をしたかもしれない女子生徒への指導			
事例の概要				
夏休みが終わり保健室に来室したA子。いつも明るく元気なA子が、今日は不安そうで落ち着きがない。「どうしたの。」と尋ねると、月経が遅れていて、妊娠検査薬の判定が陽性だった。体調も悪く、先生に相談したくて来たと訴える。				
本人（家庭）の状況				
本人は3年生。幼少時代に両親が離婚したため、母親と兄の3人家族。交際相手は、夏休みに入って出会い系サイトで知り合った20歳の社会人。母親は夜も遅くまで働き、兄も不在がちなため、家に帰っても独りぼっちで「寂しい」という気持ち強い。本人も生活のためにアルバイトをしている。				
学校における指導				配慮すべき事項
生徒	先生			
ねらい1・・・安心させ、選択肢を与えて共に考える				
「……………うん。……………」 「ありがとう。先生。」  「まだわからない。彼にもお母さんにも話すのが怖い。何て言われるかと思うと心配で……………」	「よく来たね。辛かったね。」 「これからは一緒に考えていこうね。」  「あなたはこれからどうしたいと思ってる。」  ○ここで選択肢を出す（例） ①お母さんに相談して一緒に病院へ行く。 ②彼に相談して一緒に病院へ行く。 ③お母さんと彼の両方に相談して病院へ行く。 ④やっぱり最初は先生と病院に行ってみる。 「不安だよ。でもあなたが決めた事、最大限応援するから、一晩よく考えてきて。」			○A子の不安な気持ちを最優先し気持ちを受け止める事から始める。  ○安心して相談できるように時間や場所を配慮する。
「考えてみる。また、明日相談に来ていい。」 「私も誰も居ないほうがいいから。」	「待ってるから。みんなが居ない放課後にしようか。」			
ねらい2・・・本人に意志決定させる				
<翌日> 「昨日お母さんに話したよ。お母さんは、怒ったり泣いたりしてたけど、体のこと心配して病院行こうって。」  「彼にメールしたけど、付き合いも短いし、困ってる感じが伝わってきた。」  「お母さんと先生が居るから大丈夫。」	「よく話せたね。やっぱりお母さん、忙しいけどA子の事大切に思ってるんだよね。彼はどうなの。」  「そうなんだ。大丈夫。お母さんと病院行ったら、また話そうね。」  「ちょっと安心したよ。」			
ねらい3・・・自尊感情を高める				
○話し合いの結果、子どもを育てていけないため、人工妊娠中絶を選んだ。  「先生病院行ってきたよ。赤ちゃん居なくなっちゃった。」		○アフターケアを重視する。（不安・苦痛・悲しみを受けとめながら）  (1)家族愛に触れる事で、自尊感情の向上に繋げる。		

学校における指導		配慮すべき事項
生徒	先生	
<p>「今まで、忙しいのはわかるけど、ほかられてる気がしてた。お母さんも自分の事で精一杯って感じて、私の事、どうでもいいと思ってるって。」</p> <p>「おかあさん、私の体心配して一生懸命だった。私が元気じゃないと、何にもやる気が起きないって。」</p> <p>「うん。私何時も寂しくて。好きでもない人と付き合ったり、出歩いたりしてた。でも、やっぱりいざという時、頼れるのはお母さんしかないって思えたよ。」</p> <p><u>「自分の事も、お母さんの事も大切にしようって思った。お母さんが働きやすいように家の事手伝おうかなって。」</u></p> <p>「教えてくれるの。」</p> <p>「いいよ。でも何話したか教えてね。」</p>	<p>「そう、よく頑張ったね。悲しい出来事だったね。でも、お母さんとの仲が深まった感じかなあ。」</p> <p>「お母さんの本当の気持ちがわかったんだね。」</p> <p>「子どもを思わない親はいないと思うよ。色々な事情で考えられない様な事件もあるけど、やっぱり親は子どもが一番の宝物だと思うよ。大切にされてるって思えた？」</p> <p>「今までは家族がバラバラって感じてたけど、お互いの心が見えた感じかなあ。」</p> <p>「悲しい出来事だったけど、大切な事がわかったよね。これから元気になったら、妊娠の仕組みや性感染症なんかの事を、A子に知ってもらいたいんだけど、どうかなあ。」</p> <p>「もちろん。それから、先生お母さんと一度話したいんだけど、連絡してもいいかなあ。」</p> <p>(2)心と体が落ち着いてきたら、少しずつ妊娠のメカニズムについて伝える。</p> <p>(3)高校生の性行動にともなうリスクについて話し合う。</p> <p>(4)出会い系サイトの問題点と危険性について話し合う。</p> <p>(5) (1)~(4)を押さえ、自分を愛し自分を大切にしたい行動が出来るよう援助する。</p>	<p>○本人の心の動きに添ってアフターケアを行う。急ぎすぎる指導は避ける。</p> <p>○保護者との連絡は、必ず本人の了解を得てからにする。</p> <p>○話の内容によって、連携メンバーを選定する。校内や医療機関など、事例にあったメンバーを大切にする。</p>
考 察		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・たぶん妊娠しているだろうという不安な気持ちを訴えた生徒を、よく相談に来てくれたという気持ちで受け止め、心身両面で支え、本人と相談しながら連携すべき人を選定する必要がある。</li> <li>・この事例のように、本人を妊娠に導く要因が〈さみしい〉という家庭的な問題や自尊感情の不足からくる場合、『親は、何があっても子供が心配で大切なんだ。』という事を実感させる体験を通して、自尊感情を高めさせる事が重要である。</li> <li>・最近の男女交際における問題点を浮き彫りにしたような事例といえるが、メル友や出会い系サイト、友達の元彼といった交際は、二人の絆が浅く弱かったり、性感染症の問題、犯罪面の心配もある。自己を大切にし、お互いに責任をもてるような交際に導けるよう指導していく必要がある。</li> <li>・個別指導は、個々の事情をよく考え、配慮しながら行える効果的は指導方法である。心の動きが捉え易く、不安な気持ちを支えられるライフスキル教育の一つになりうる。</li> </ul>		

## おわりに

自分の喉（頸動脈）を人差し指と中指で押さえてみると、「ドクン、ドクン」と血液が体に流れていることを感じます。「ドンッ、ドンッ」と打つ心臓の鼓動を聞くとき、これが命の音であることを知ります。こうして、子ども達は「生きること」や「命あること」を実感的に理解していきます。

学校における性教育は、こうした生きることや命あることの大切さや喜びを基盤にして、仲間とともに、性に関する話し合いを進め、丁寧な人間関係づくりが大切であることを実感し、焦らず慌てず適切な性行動が取れるよう繰り返し指導することが重要になります。

今、この本を手に行している先生こそが性教育推進のキーパーソンであり、子ども達の未来を輝かしいものにできる担い手であると信じています。地道な実践を期待しています。

なお、本書の作成にあたり、京都大学大学院医学研究科 木原雅子助教授が進める『WYSH教育』の考え方を参考にさせていただきましたことを感謝いたします。



### 参考・引用文献

『学校における性教育の考え方，進め方』 文部科学省  
平成11年8月5日発行

『10代の性行動と日本社会 そしてWYSH教育の視点』 木原雅子 著  
2006年2月25日発行 ミネルヴァ書房

『性教育指導の手引～中・高等学校用～』 鹿児島県教育委員会  
平成15年3月

『神様がくれたHIV』 北山翔子 著 紀伊國屋書店 出版

## 性教育実践調査研究委員会委員一覧

番	氏 名	所 属
1	木田 恵次	県学校保健会 広報・調査委員長 木田医院
2	片岡 雅子	県PTA連合会（母親委員）
3	天野 知子	県PTA連合会（母親委員）
4	大塚 芳樹	各務原市立各務小学校（教諭）
5	澤田 辰男	大野町立大野中学校（教諭）
6	山田 恭子	関市立安桜小学校（教諭）
7	上田 和伸	県立岐山高等学校（教諭）
8	溝口 尚美	本巣市立外山小学校（養護教諭）
9	大城戸香織	岐阜市立青山中学校（養護教諭）
10	日置 雅子	県立岐阜城北高等学校（養護教諭）
11	中川 浩美	美濃教育事務所
事務局	宮川 保則	県教育委員会
	村田 明治	県教育委員会
	世一 和子	県教育委員会
	服部 和也	県教育委員会（担当）